

第 5 回円山川流域委員会での現地視察に関するご確認

第 4 回流域委員会での審議結果により、第 5 回流域委員会（9/17）では直轄区間の現地視察で残された河口周辺の視察と情報の共有化に向けた議論を行うことになりました。この審議の中で議論のありました現地視察の方法として、舟を使った視察、全体を見渡せる地点からの視察等について、検討した結果を報告します。

1. 舟を使った視察について

観光船を運航している日和山観光㈱と協議を行った結果、円山川河口からひのそ島付近までの区間において、舟を使った視察は可能であると考えられます。（図-1 参照）



図-1 観光船通行可能範囲

2 . 全体を見渡せる地点からの視察について

来日岳（標高 566.6m）の現地踏査を行った結果、

車両を用いた場合、通行路が林道のため幅員が狭く、屈曲部も多いため、マイクロバス等の車両での登坂が不可能と判断されます。また、一部未舗装の部分があります。

川霧の発生しやすい場所であり、視界は天候に左右され、実際最初の現地踏査時、豊岡盆地は眺望できませんでした。

第 5 回流域委員会は 9 月 17 日を予定しておりますが、まだ残暑が厳しく、天候も不安定な時期であると思われます。

徒歩で登る場合、2～3 時間程度を要すると思われませんが、個人差が大きく、予定時間の設定は困難であると考えられます。

これらの理由により、流域委員会で現地視察を実施する場合、来日岳の全体を見渡せる地点からの視察については、極めて困難であると判断されます。なお、来日岳の状況写真および地図を 4 ページの図-2 に示していますので参照してください。

3 . 第 5 回円山川流域委員会の現地視察ルート（案）

上記 1、2 の結果を踏まえ、第 5 回円山川流域委員会の現地視察は、舟を使って行いたいと考えております。これまでの委員会での審議結果を考慮して、現地視察ルート（案）を作成しました。選定に関する基準及び現地視察ルート（案）を以下に示します。なお、ひのそ島では下船しての視察についても検討しております。

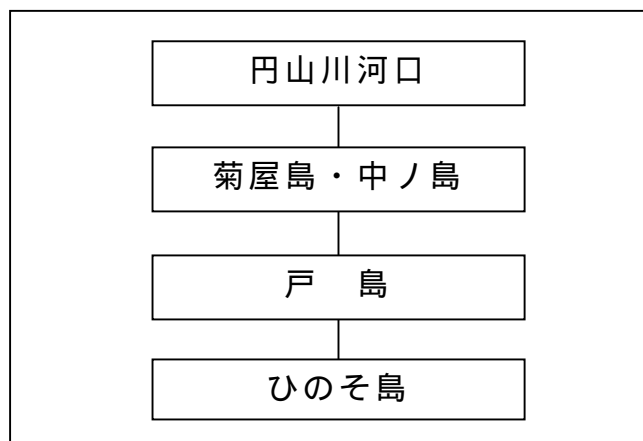
【 視察地点選定基準 】

委員が他の委員に知って貰いたい、また見て貰いたい地点。

各委員が関心を持っている地点。

河川管理者として、委員に見て貰いたい地点。

既存資料に基づいてまとめた地点。



現地視察ルート（案）

前述のように、第 5 回円山川流域委員会では、情報の共有化に向けた議論及び河口域の現地視察を予定しております。前者の情報の共有化に向けた議論では、先に各位にお送りしております「直轄管理区間の現地視察に関するアンケート」の結果を中心に議論することになると予想されますが、その議論には河口域の現地視察結果も加えていくのが自然であろうかと思われまます。

以上から、第 5 回円山川流域委員会では、河口域の現地視察を初めに行い、その後、情報の共有化に向けた議論を行っていきたいと考えておりますので、ご了承くださるようお願いいたします。

なお、視察当日が悪天候の場合でも、日程の延期は行わず、バス等による視察に変更して実施し、現地視察における質問等につきましては、後に予定しております会議の冒頭で取り上げたいと考えておりますが、これらの点につきましてもご了承をお願い致します。

現地視察ルート（案）および悪天候時の取り扱い等について、ご意見・ご質問等ございましたら、8月26日（火）までに、庶務までご連絡ください。

また、舟の利用等に支障のあります方がいらっしゃいましたら、同じく庶務までご連絡ください。

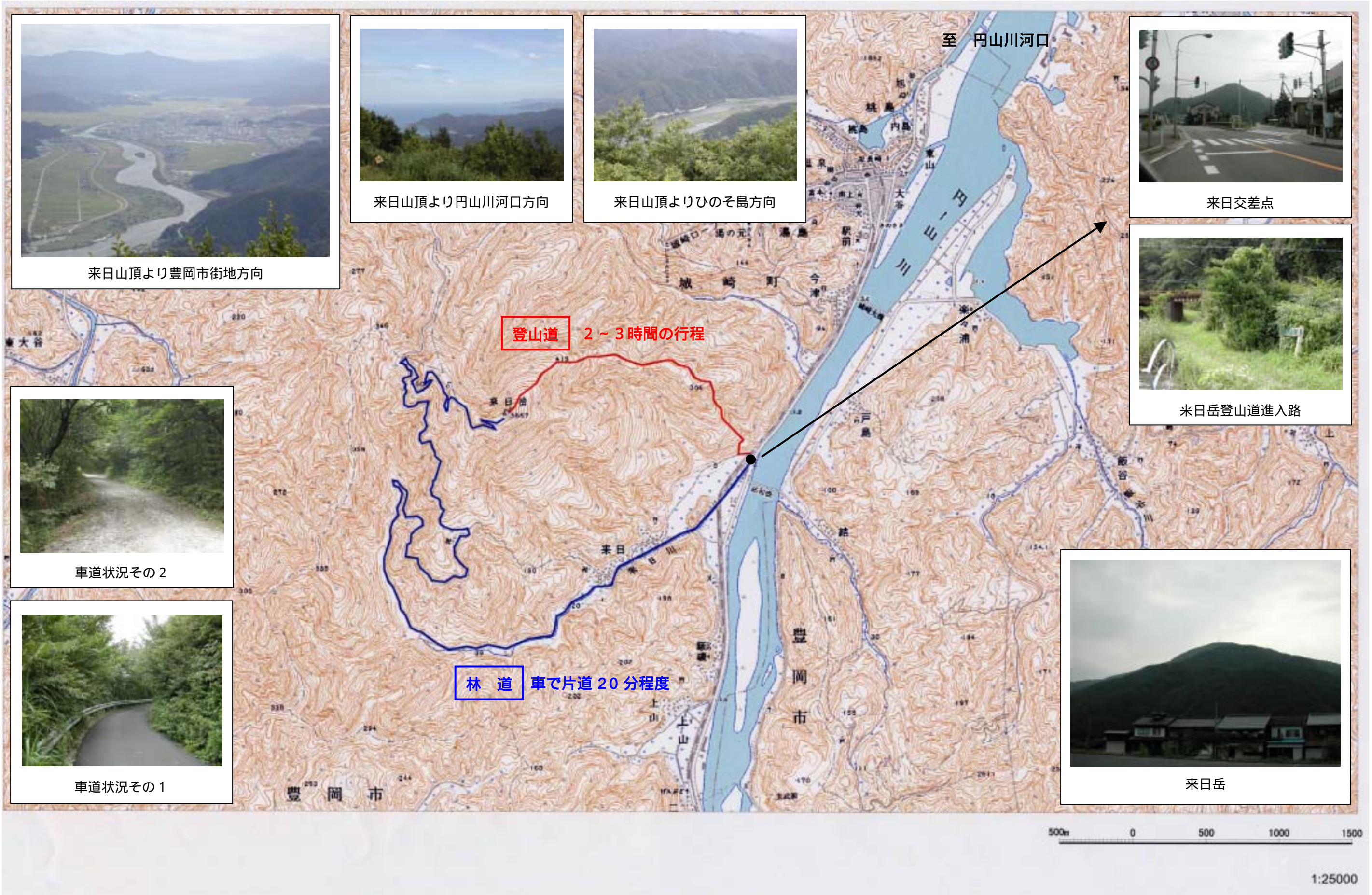


図-2 来日岳の状況写真及び地図